学校番号	1001

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	世界の人権	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界の人権諸課題を学ぶことで、解決困難な問題が複雑に絡みあった世界の現状を俯瞰的に見る力を養う。（主に映画や動画を見て考えレポートを書き、それをシェアし合考えを深める。）
・多様な文化や生活に生きる人達と共生する力を身につける。
・貧困を含む世界の人権課題の解決（SDGs 目標達成）につながる行動を実践しようとする姿勢を育む。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
貧困、難民、人身売買、子ども兵士等、世界の人権諸課題についての基本的知識を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
視聴覚教材への感想や意見の交流、諸課題の背景分析や解決策についての調べ学習、プレゼン等の活動を通して、思考力や表現力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
困難な状況下、尊厳を失うことなく生き抜く人々の姿や、人権諸課題の解決のために努力している人々の姿にふれることで、人間性を磨き、自らの生き方を考え、主体的に学びに向かう力を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の人権諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	問題の原因や解決策について多角的に考察し、公正に判断し、自分たちに何ができるかについて深く考察する。 その考察を、わかりやすく説得力ある形で表現する。	世界の人権諸課題を自らの問題ととらえ、その解決に主体的に関わろうとしている。 そのためにさらに主体的に学ぼうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現状を知る(1)	・子どもと貧困（ストリートチルドレン、児童労働、人身売買） ・子どもと戦争（少年兵）	a:世界の様々な人権問題の現状について理解している。 b:個々の課題の現状を整理し、まとめることができている。 c:様々な人権課題に興味を示し、さらに学んでいこうとしている。	ワークシート レポート	ワークシート レポート	振り返りシート
	現状を知る(2)	・欧米の移民・難民問題。	a: 世界の様々な人権問題が複雑に絡みあっていることを理解している。 b: 世界の人権課題の現状を俯瞰的にとらえ、表現できている。 c: どの人権課題の解決も容易ではないことを知り、より高次の学びへの意欲を示している。	ワークシート レポート	ワークシート	振り返りシート
後期	原因と解決策	・世界の貧困や不公正が生まれる原因と解決への取り組み。（アフリカの飢餓問題を中心に。）	a:世界の人権課題の解決にむけて様々な取り組みがなされていることを理解している。 b: 世界の貧困や不公正が生まれる原因と解決の方向性について、自分なりの言葉で表現できている。 c:解決は困難ではあるが不可能ではないことを知り、解決にむけて自分に何ができるかを考え始めている。	ワークシート レポート	ワークシート レポート	振り返りシート
	世界の人権と私	・人種、宗教等を理由とした人権侵害の場面に遭遇した時、人はどう動くか。自分はどうか。 ・諸課題の解決にむけて自分たちはどんな貢献ができるか。	a:自分ごととして直面した時、人は必ずしも善悪の基準で行動しない（できない）ことを理解している。 b:自分たちの日常生活を通して、様々な人権課題の解決にどう貢献できるかについて、研究しまとめることができている。 c:１年間の学習を通した成長を自覚し、これからも学び行動していこうとしている。	ワークシート レポート	ワークシート レポート	レポート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度